

【小学校・中学校・義務教育学校用(案)】

令和2年度学校評価 計画表

学校名	武雄市立山内東小学校
-----	------------

1 前年度評価結果の概要

・基礎基本を身につけさせる指導やICTの効果的な活用について不十分であり、全職員による共通理解、共通実践に力を入れた。
 ・職員の退勤時刻に個人差があり、時間外勤務が多くなっていた。働き方改革について考える場を持ち、取り組みを継続させたい。

2 学校教育目標

自ら学び、心豊かで、元気な東っ子の育成 ～地域と共にある学校づくりを進める～

3 本年度の重点目標

・基礎基本を身につけさせる指導の徹底、ICTを活用した効果的な実践、客観テストや調査結果に直結する指導方法を共有し、授業改善を行う(学力向上)。
 ・行事の精選、業務や会議の効率化を行い、全職員の時間外勤務時間の月平均45時間以内にする(働き方改革)。

進捗度(評価)	
A: ほぼ達成	(80%以上)
B: 概ね達成	(60%以上80%未満)
C: やや不十分	(40%以上60%未満)
D: 不十分	(40%未満)

4 取組内容・指標(数値目標)				中間評価		5 最終評価			主な担当者
(1)共通評価項目				進捗度(評価)	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	主な担当者
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・「授業づくり1・2・3vol.1&2」を活用した授業実践を日々行い、教職員間でマイプランを共有する。月末に振り返りシートを提出し、見直しを図る。						
	○基本的な学習習慣の定着と学習内容の確実な定着	○12月の県学習状況調査において、十分達成基準に近づく(0.9以上)。「家で宿題をきちんとする」と回答する児童や保護者80%以上。	・学力検査の結果を分析し、児童の実態に合った指導方法、指導形態を考え、個に応じたきめ細かな指導を行う。「学力向上たより」を定期的に配布し、学力向上に対する保護者の意識を高める。						・学力向上対策コーディネーター ・学習部 ・学年主任
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○アンケートに関する項目「相手がいやがることをしない、いわない」で肯定的な回答をした児童80%以上にする。	・人権集会を実施(人権標語に取り組み)、学級での振り返り指導を実施する。道徳に関するアンケートを実施する。 ・授業参観で、年1回「ふれあい道徳」を実施し、地域や保護者に公開する。						・道徳教育推進教師 ・人権・同和教育担当者 ・学年主任
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていないと回答した教員を80%以上にする。 ○アンケートで「学校が楽しい」と回答する児童80%を達成する。	・生活アンケートを行い、いじめや生徒指導上の問題の早期発見に努める。学校いじめ基本方針をいじめの認知・覚知に対する対応マニュアルも含めて見直し、充実させ対応の迅速化を図る。						・生徒指導担当(生活部) ・各学年主任
	○自ら夢や目標の実現に向け努力する気持ちを高める教育の推進	○「自ら夢や目標の実現に向け努力する気持ちがある」とアンケートで答える児童80%以上にする。	・道徳や総合的な学習、特別活動を中心に、授業にキャリア教育の視点を取り入れた年間計画を作成する。 ・ものづくり体験や高齢者体験、手話体験、車椅子体験等、体験活動を通して、将来の職業や生き方に対する見方、考え方を学ばせる機会を設定する。						・総合的な学習主任 ・特活主任(特活部)
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康に食事は大切」であると考えている児童生徒80%以上 ○児童・保護者アンケートにおいて「早寝・早起き・朝ご飯」実施率を90%以上にする。	・生活状況調査や食に関する意識調査などを実施する。 ・保健便りやアンケートを通して、朝食をとることの大切さの理解と啓発を行う。						・保健主事 ・栄養教諭 ・学校栄養職員 ・食育推進担当者
	○安全に関する資質・能力の育成	○防災教育を推進し、教師・児童のアンケートで「防災に対する意識が高まった」と回答する児童80%以上にする。	・防災危機管理課、国土交通省河川事務所などを活用し、体験学習や避難訓練、職員研修を実施する。社会科「安全な暮らしを守る」「自然災害から人々を守る」などを活用し、地域の方をゲストティーチャーに招く。						・生活部 ・社会科主任
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●全職員の時間外勤務時間の月平均45時間以内にする。定時退勤日の達成率を90%以上にする。	・定時退勤日設定(金曜)とリクエスト退勤日の実施 ・学校閉庁日の設定						管理職
	○行事・会議の効率化	○行事や会議の効率化を図り、児童と向き合う時間を確保する。 ○教師のアンケートで「行事や会議の効率化により効果的な教育活動につながった」職員を80%以上にする。	・仕事の効率化に向けた取り組みについて、「働き方改革委員会」を設け、全職員の意識向上を図る。 ・校務シェアを活用し、会議資料のペーパレス化に努める。						・管理職 ・教務主任 ・四部会部長
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				進捗度(評価)	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○健康・体づくりの充実	○継続的に運動に慣れ親しむ・健康に対する意識の向上	・「スポーツチャレンジ」に1種目以上取り組む学級を100%にする。 ・保健便り等を通して、う歯治療率を50%以上にする。	・「スポーツチャレンジ」強化月間を設け、結果を定期的に公表し、掲示する。 ・歯科校医と連携しブラッシング指導を行い、虫歯に対する意識を高める。						・体育主任(保体部)
○特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上と一人ひとりの児童のニーズに応える教育の推進	○特別支援に関する専門性が向上した教員80%以上	・「気になる子」に関する情報交換の場を週1回設け、共通理解を図る。 ・ケース会議や職員研修の場を設け、合理的配慮に基づいた指導、インクルーシブ教育の視点に立った環境を整える。						・特別支援コーディネーター ・教育相談担当

6 総合評価・次年度への展望

・
 ・
 ・